

保健学科教育学修プログラム

検査技術科学専攻

令和5年度前期

4年次

【米子地区授業時間】

1時限	: 8:40 ~ 10:10
2時限	: 10:30 ~ 12:00
3時限	: 13:00 ~ 14:30
4時限	: 14:50 ~ 16:20
5時限	: 16:40 ~ 18:10

【鳥取地区授業時間】

1時限	: 8:45 ~ 10:15
2時限	: 10:30 ~ 12:00
3時限	: 13:00 ~ 14:30
4時限	: 14:45 ~ 16:15
5時限	: 16:30 ~ 18:00

令和5年度 授業時間配当表(保健学科検査技術科学専攻4年次)

		前 期									
		前半(8)					後半(8)				
		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
1	医療コミュニケーション	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	課題研究	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	
2	医療安全管理学	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	課題研究	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	
3	医療安全管理学実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習 課題研究	課題研究	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	
4	医療安全管理学実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習 課題研究	課題研究	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	
5	医療安全管理学実習					課題研究					

		後 期									
		前半(8)					後半(8)				
		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
1		特別講義3 (廃棄物処理論)	画像診断学								
2		遺伝子診断学	特別講義2 (バイオインフォマ ティクス)		特別講義1 (予防検査学)						
3	課題研究	課題研究	課題研究	課題研究	課題研究						
4	課題研究	課題研究	課題研究	課題研究	課題研究						
5											

生命・看護との合同講義

看護との合同講義

生命との合同講義

16週制

令和5年度・七曜表

(生命科学科・保健学科)
※保健学科看護学専攻2・3年次除く

	前 期							週 数
	日	月	火	水	木	金	土	
4							1	
	2	3	4	5	6	7	8	1
	9	10	11	12	13	14	15	2
	16	17	18	19	20	21	22	3
	23	24	25	26	27	28	29	4
	30	1	2	3	4	5	6	補
5	7	8	9	10	11	12	13	5
	14	15	16	17	18	19	20	6
	21	22	23	24	25	26	27	7
	28	29	30	31	1	2	3	8
6	4	5	6	7	8	9	10	9
	11	12	13	14	15	16	17	10
	18	19	20	21	22	23	24	11
	25	26	27	28	29	30	1	12
7	2	3	4	5	6	7	8	13
	9	10	11	12	13	14	15	14
	16	17	18	19	20	21	22	15
	23	24	25	26	27	28	29	16・試
	30	31	1	2	3	4	5	試
8	6	7	8	9	10	11	12	再試
	13	14	15	16	17	18	19	
	20	21	22	23	24	25	26	
	27	28	29	30	31	1	2	
9	3	4	5	6	7	8	9	
	10	11	12	13	14	15	16	
	17	18	19	20	21	22	23	
	24	25	26	27	28	29	30	

	後 期							週 数
	日	月	火	水	木	金	土	
10	1	2	3	4	5	6	7	1
	8	9	10	11	12	13	14	2
	15	16	17	18	19	20	21	3
	22	23	24	25	26	27	28	4
	29	30	31	1	2	3	4	5
	11	5	6	7	8	9	10	11
12		13	14	15	16	17	18	7
19		20	21	22	23	24	25	8
26		27	28	29	30	1*	2	9
12	3	4	5	6	7	8	9	10
	10	11	12	13	14	15	16	11
	17	18	19	20	21	22	23	12
	24	25	26	27	28	29	30	補
	31	1	2	3	4	5	6	補
1	7	8	9	10	11	12*	13	13
	14	15	16	17	18	19	20	14
	21	22	23	24	25	26	27	15
	28	29	30	31	1	2	3	16・試
2	4	5	6	7	8	9	10	試
	11	12	13	14	15	16	17	再試
	18	19	20	21	22	23	24	
	25	26	27	28	29	1	2	
3	3	4	5	6	7	8	9	
	10	11	12	13	14	15	16	
	17	18	19	20	21	22	23	
	24	25	26	27	28	29	30	
	31							

備考

- ◇ 5月2日(火) 木曜日授業
- ◇ 6月1日(木) 鳥取大学記念日
- ◇ 7月24日(月) 定期試験期間開始
- ◇ 8月4日(金) 定期試験期間終了
- ◇ 8月7日(月) 再試験期間開始
- ◇ 8月18日(金) 再試験期間終了
- ◇ 11月1日(水) 金曜日授業
- ◇ * 12月1日(金) 午前のみ金曜日(午前の科目)授業
- ◇ 12月28日(木) 金曜日授業
- ◇ 1月9日(火) 月曜日授業
- ◇ * 1月12日(金) 午前のみ金曜日(午後の科目)授業
- ◇ 1月26日(金) 定期試験期間開始
- ◇ 2月8日(木) 定期試験期間終了
- ◇ 2月9日(金) 再試験期間開始
- ◇ 2月26日(月) 入学試験(前期日程)試験日
- ◇ 2月27日(火) 再試験期間終了

Q1	 月曜授業	 火曜授業	 水曜授業	 木曜授業	 金曜授業
Q2	 月曜授業	 火曜授業	 水曜授業	 木曜授業	 金曜授業

保健学科検査技術科学専攻4年次目次

前期

	区分	授業科目名		
必修	専門科目	【臨床実習】	5
必修	専門科目	病理組織細胞学実習Ⅱ		
必修	専門科目	病態血液学実習Ⅱ		
必修	専門科目	病態分析検査学実習Ⅱ		
必修	専門科目	病原体検査学実習Ⅱ		
必修	専門科目	病態免疫血清検査学実習Ⅱ		
必修	専門科目	病態生理情報検査学実習Ⅱ		
必修	専門科目	医療安全管理学	6
必修	専門科目	医療安全管理学実習	7
選必	専門科目	医療コミュニケーション	8
必修	専門科目	課題研究	9

※選択科目：選択、選択必修科目：選必、必修科目：必修は令和5年度入学者を基準としています。

※主題、基幹(人文・社会分野)から卒業までに14単位以上修得してください。

※専門科目については、課程表を確認してください。

授業のレベルについて

- 1: 入門及び初級レベル
- 2: 中級レベル(基礎科目)
- 3: 中級～上級レベル(応用科目)
- 4: 上級レベル(発展科目)
- 5: 大学院レベル

臨床実習（病態生理情報検査学実習Ⅱ、病理組織細胞学実習Ⅱ、病原体検査学実習Ⅱ、病態免疫血清検査学実習Ⅱ、病態血液学実習Ⅱ、病態分析検査学実習Ⅱの6科目を含む）

科目到達目標：医療現場を体験して、臨床検査学・技術学の知識が応用、実践できるようにする。

科目責任者(所属)：加藤雅彦(病態検査学講座)

連絡先：0859-38-6381

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不 授業方法	授業内容	担当者	講座・ 分野・診療科	予習・復習内容	授業のキーワード
16週	4/18(火)	1~4	附属病院各部門	対面	パターン1遠隔(資料・課題学習)	臨床実習前のオリエンテーション 実習前に整理しておくべき知識の確認 * 4/3~4/17の授業方法は時限によってはオンデマンドあるいはオンラインに変更となる可能性がある。Manabaの連絡を確認してください。	(病態検査学) 北村 幸郷 鯨岡 直人 加藤 雅彦 臼井 真一 中川 真由美 下廣 寿 佐藤 研吾 石黒 尚子 松下 倫子 高田 美也子	病態検査学 検査部	授業のテーマに関する教科書、参考資料を参照し、勉強したことを箇条書きにまとめること(1.5時間)。 講義後も講義内容の理解を深めるために当日の概要・ポイント等をまとめるなど、復習に励むこと(1.5時間)。	検体検査、生理検査、細菌検査、病理検査、基準値、医療情報、検査管理、患者検体、医倫理
	~		外部病院など							
	7/28(金)									
	(月曜日は除く)									
						(検査部) 市川 ひとみ 足立 良行				
						* 附属病院(検査部、輸血部、病理部、放射線部、薬剤部)と学外病院検査部を利用して実施する(8部門、16週)。 * 実習内容は病態分析検査学実習Ⅱ、病態免疫血清検査学実習Ⅱ、病態血液学実習Ⅱ、病態生理情報検査学実習Ⅱ、病原体検査学実習Ⅱ、病理組織細胞学実習Ⅱの6科目を含む。 * 学生は7グループに分かれ、2週間を1クールとして8部門をローテートする。				

教育グランドデザインとの関連：2、6

学位授与の方針との関連：4

授業のレベル：3

評価：実習態度・レポート・口頭試問の成績を総合評価する。

実務経験との関連：病院現場における実際の臨床検査技師業務を見学・体験し、実践力を養う。接遇・コミュニケーション能力も養成する。

指定教科書：臨床実習マニュアル(鳥取大学医学部保健学科編)

参考書：1. 臨床検査ミニガイド(鳥取大学医学部附属病院検査部発行)

2. 基礎および臨床のすべての教科書が対象になる。

その他：無断欠席は評価の対象として、卒業要件に大きく作用する。厳に慎むこと。

感染対策の目的で対面講義が不可の際は、オンラインあるいはオンデマンド講義に切り換えることがある。

医療安全管理学

科目到達目標:チーム医療における臨床検査技師の役割と臨床検査に関する安全管理について説明できる。

科目責任者(所属):河月 稔、森 徹自(生体制御学)

連絡先:E-mail:kouzuki@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	講義内容	担当者	講座・ 分野・診療科	予習・復習内容	講義のキーワード
1	4/3(月)	2	211	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	医療倫理	河月 稔	生体制御学	接遇・コミュニケーションスキルについて教科書を読んで予習し、授業内容の質問に答えられるようになるために復習する。	挨拶、声掛け、技師による検査説明、医療倫理
2	4/3(月)	3	211	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	チーム医療への臨床検査技師のかかわり	河月 稔	生体制御学	チーム医療への技師のかかわりについて教科書を読んで予習し、授業内容の質問に答えられるようになるために復習する。	ICT、NST、糖尿病患者指導、臨床研究支援、医療安全
3	4/10(月)	2	211	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	リスクマネージメント(合併症と医療事故、患者急変時の対応)	河月 稔	生体制御学	医療事故の対応、患者急変時の対応について教科書を読んで予習し、授業内容の質問に答えられるようになるために復習する。	インシデント、アクシデント、患者取り違え、検体取り違え、合併症と医療事故、法的責任、病院内での患者急変時の対応
4	4/17(月)	2	211	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	感染管理の意義と方法	河月 稔	生体制御学	感染対策の意義や概念、考え方について教科書を読んで予習し、授業内容の質問に答えられるようになるために復習する。	病原体の感染経路、感染管理、個人防護具、標準予防策、集団隔離、ワクチン、アウトブレイク、サーベイランス、医療安全管理
5	4/24(月)	2	211	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	臨床検査技師が検体採取を行う意義	河月 稔	生体制御学	臨床検査技師による検体採取の意義について教科書を読んで予習し、授業内容の質問に答えられるようになるために復習する。	包括的精度管理、業務範囲、検体採取(血液、喀痰、鼻腔拭い液、鼻腔吸引液、咽頭拭い液、便)
6	5/1(月)	2	211	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	採血時の安全管理と注意事項、採血の種類・部位・手段	河月 稔	生体制御学	採血の概要、各種採血法や採血に付随する行為について教科書を読んで予習し、授業内容の質問に答えられるようになるために復習する。	採血時の安全管理、採血行為の範囲、採血に際しての注意事項、採血管、採血の種類、採血の部位、乳幼児の採血、静脈路確保、電解質輸液、高齢者(認知症)への対応
7	5/8(月)	2	211	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	各種検査等における検体採取と注意事項・安全管理(1)	河月 稔	生体制御学	法改正に伴って実施できるようになった各種検査・検体採取法の概要について教科書を読んで予習し、授業内容の質問に答えられるようになるために復習する。	鼻腔拭い液、鼻腔吸引液、咽頭拭い液、喀痰吸引、皮膚表在組織病変、糞便検査、迅速検査、検体採取時の注意事項・安全管理
8	5/15(月)	2	211	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	各種検査等における検体採取と注意事項・安全管理(2)	河月 稔	生体制御学	法改正に伴って実施できるようになった各種検査・検体採取法の概要について教科書を読んで予習し、授業内容の質問に答えられるようになるために復習する。	鼻腔拭い液、鼻腔吸引液、咽頭拭い液、喀痰吸引、皮膚表在組織病変、糞便検査、迅速検査、検体採取時の注意事項・安全管理

教育ブランドデザインとの関連:2,6,7

学位授与の方針との関連:1,2,4

授業のレベル:2

評価:定期試験100%

実務経験との関連:病院の検査部門における実務経験がある教員が、その経験を活かして指導する

指定教科書:最新臨床検査学講座 医療安全管理学 第2版 医歯薬出版 諏訪部章・高木康・松本哲哉 編 2023年

参考書:臨床検査技師のための医療安全管理教本 じほう 日本臨床衛生検査技師会監修 2017年、検体採取者のためのハンドブック じほう 日本臨床衛生検査技師会監修 2016年

医療安全管理学実習

科目到達目標:標準的な方法で検体採取が実施できる、および臨床検査におけるリスクマネージメントの方法を説明できる。

科目責任者(所属):河月 稔、森 徹自(生体制御学)

連絡先:E-mail:kouzuki@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	講義内容	担当者	講座・ 分野・診療科	予習・復習内容	講義のキーワード
1・2	4/3(月)	4,5	211	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	オリエンテーション	河月 稔	生体制御学	医療安全管理学実習を適切に行えるようになるために配布プリントの内容を復習する。	実習の準備、ガイダンス
3～5	4/10(月)	3,4,5	219実習室	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	感染対策	河月 稔	生体制御学	感染対策の手法について教科書や配布プリントを読んで予習し、実習後は復習のためにレポートを作成する。	手洗い、個人防護具、標準予防策、感染経路別予防策
6～8	4/17(月)	3,4,5	219実習室	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	鼻腔・咽頭拭い液の採取、鼻腔吸引液の採取、経口・経鼻又は気管カニューレ内部からの喀痰吸引(1)	河月 稔	生体制御学	鼻腔・咽頭拭い液や鼻腔吸引液の採取、喀痰の吸引について教科書や配布プリントを読んで予習し、実習後は復習のためにレポートを作成する。	鼻腔拭い液、咽頭拭い液、鼻腔吸引液、喀痰吸引、迅速検査、接遇、緊急処置
9～11	4/24(月)	3,4,5	219実習室	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	鼻腔・咽頭拭い液の採取、鼻腔吸引液の採取、経口・経鼻又は気管カニューレ内部からの喀痰吸引(2)	河月 稔	生体制御学	鼻腔・咽頭拭い液や鼻腔吸引液の採取、喀痰の吸引について教科書や配布プリントを読んで予習し、実習後は復習のためにレポートを作成する。	鼻腔拭い液、咽頭拭い液、鼻腔吸引液、喀痰吸引、迅速検査、接遇、緊急処置
12～14	5/1(月)	3,4,5	219実習室	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	皮膚表在組織病変からの検体採取、糞便の採取	河月 稔	生体制御学	皮膚表在組織病変や糞便の採取について教科書や配布プリントを読んで予習し、実習後は復習のためにレポートを作成する。	皮膚表在組織病変、糞便検査、迅速検査、接遇
15～17	5/8(月)	3,4,5	219実習室	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	リスクマネージメント	河月 稔	生体制御学	インシデント、アクシデント事例を通じたリスクマネージメントについて教科書を読んで予習し、実習後は復習のためにレポートを作成する。	リスクマネージメント、グループワーク
18～20	5/15(月)	3,4,5	219実習室	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	実技試験	河月 稔	生体制御学	実習した内容が実施できるようにするために予習する。	感染対策、検体採取、リスクマネージメント
21～23	5/22(月)	3,4,5	219実習室	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	実技試験	河月 稔	生体制御学	実習した内容が実施できるようにするために予習する。	感染対策、検体採取、リスクマネージメント

教育グランドデザインとの関連:2,3,4,5,7

学位授与の方針との関連:1,2,4

授業のレベル:3

評価:実習態度・実技試験50%、レポート50%により総合的に評価する

実務経験との関連:病院の検査部門における実務経験がある教員が、その経験を活かして指導する

指定教科書:最新臨床検査学講座 医療安全管理学 第2版 医歯薬出版 諏訪部章・高木康・松本哲哉 編 2023年、別途プリントを配布する

参考書:臨床検査技師のための医療安全管理教本 じほう 日本臨床衛生検査技師会監修 2017年、検体採取者のためのハンドブック じほう 日本臨床衛生検査技師会監修 2016年

医療コミュニケーション

科目到達目標:

医療従事者として、患者や家族および他の医療職者との良好な人間関係を構築するために、必要な態度とコミュニケーションに関する基本的知識ならびに技能を習得する。

科目責任者(所属): 藤原 由記子(基礎看護学), 深田 美香(基礎看護学)

連絡先: アレスコ棟1階 教員室107室 TEL 0859-38-6307 E-mail awanou@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座・ 分野・診療科	予習・復習内容	授業のキーワード
1	4/3(月)	1	262	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	医療コミュニケーションとは何か	藤原 由記子	基礎看護学	コミュニケーションに必要な要素について、キーワードをもとに予習を行う。(30分)	伝達、共感、共有、人間関係、感情、内省
2	4/10(月)	1	262	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	コミュニケーション能力を進行性に失っていく患児への対応について	二宮 治明	生体制御学	N教授のwebsiteの研究のページに目を通して、ニーマンピック病C型の病態を予習してください。講義後には、ビデオで供覧した両親の対応に共感できるかどうか、考えてみてください。	ニーマン・ピック病C型、知的退行
3	4/17(月)	1	262	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	医療者としてのコミュニケーション:何を、どう伝えるか?どう伝わるのか?	大島麻美	母性・小児 家族看護学	予習:今までのコミュニケーション場面を振り返り、特にWEBでのコミュニケーションは対面のコミュニケーションの取り方との相違について考察してくる。(30分)復習:授業を振り返り、学びについてのレポートを作成する。(1時間)	マナー、態度、クッション言葉、指示受け、報告、連絡、相談、正確な情報伝達、チーム医療、WEBでのコミュニケーション
4	4/24(月)	1	262	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	医療現場における外国籍患者とのコミュニケーションについて	安部由紀	地域・精神 看護学	予習:言語が通じない人と出会った時のことを振り返っておく。海外へ行ったことのある人はその時のことを思い出し、自分がどのような気持ちになったか思い出しておく。 復習:英語圏の患者さんに採血をする時にどのような説明と声かけ、接遇をするか自分なりにシナリオを考えて実際に友人or家族とロールプレイしてみる。	異文化理解、医療ミス、医療通訳
5	5/1(月)	1	262	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	コミュニケーションの特徴とメタ認知	山本陽子	基礎看護学	復習:授業後、振り返りの小レポートを作成し提出する(45分)。	自己のコミュニケーションの特徴、こころのコンパス、メタ認知
6	5/8(月)	1	262	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	医療者としてのコミュニケーションと倫理	大庭 桂子	成人・老人 看護学	復習:授業を振り返り、学びの小レポートを作成・提出する(1時間)	倫理、倫理原則、チーム医療、コミュニケーション能力
7	5/15(月)	1	262	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	医療説明(疑似体験)	下廣 寿	病態検査学	予習:事前に配布する資料を予習して下さい。 復習:病院実習期間中に意識して下さい。	検査結果、対話、シミュレーション
8	5/22(月)	1	262	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	医療従事者に必要なコミュニケーション	藤原 由記子	基礎看護学	予習:今まで学習してきたことを整理する。(30分) 復習:医療者として習得する必要があるコミュニケーションについて考察し、自己の特徴を振り返り今後の課題を明確にしたレポートを提出する。(1時間)	コミュニケーションの目的、自己の成長、医療従事者としての責任

教育グランドデザインとの関連:1,2,3,4,5,6,7

学位授与の方針との関連:1,2,3,4

授業のレベル:3

評価:各演習後レポート 各演習後レポート 70% 全演習後レポート 30%

実務経験との関連:看護師、臨床検査技師、医師などの業務に携わった経験のある教員が、その経験を活かし、各人の専門分野に関する講義・演習を行う

教科書:各講義時に、プリントなどを配布する

課題研究

科目到達目標: (未知の疑問点や問題点を自ら解決する姿勢、技術、能力を育む)

科目責任者(所属): 森 徹自(教務担当)

連絡先: 学務課教務係 me-kyoumu@ml.adm.tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座・ 分野・診療科	予習・復習内容	授業のキーワード
1~90	別途指示			対面	別途指示	NPC1 依存性・非依存性コレステロール輸送の機序の解析	二宮・仲宗根	生体制御学	配布された資料を読んで、実験内容を理解する(1時間)。実験結果をまとめてノートに記録する(1時間)。	ニーマン・ピック病C型、細胞内脂質輸送
						医療データ科学分野における研究	網崎・藤原	生体制御学	配布された資料を読んで、実験内容を理解する(1時間)。実験結果をまとめてノートに記録する(1時間)。	分子動力学シミュレーション、構造バイオインフォマティクス、タンパク質、Linux
						病理解剖症例の検討	北村・松下	病態検査学	配布された資料を読んで、実験内容を理解する(1時間)。実験結果をまとめてノートに記録する(1時間)。	臨床経過、臨床的疑問点、肉眼所見、組織所見、直接死因
						グラム陰性菌の薬剤耐性機序の解明	鱒岡・高田	病態検査学	配布された資料を読んで、実験内容を理解する(1時間)。実験結果をまとめてノートに記録する(1時間)。	病原体、最小発育阻止濃度(MIC)、抗菌薬
						リポ蛋白質の分析法や代謝に関する研究	臼井・下廣	病態検査学	配布された資料を読んで、実験内容を理解する(1時間)。実験結果をまとめてノートに記録する(1時間)。	文献検索、実験計画、データ解析、研究報告、口頭発表
						脳損傷部位における各種細胞の動態解析	森・上田	生体制御学	配布された資料を読んで、実験内容を理解する(1時間)。実験結果をまとめてノートに記録する(1時間)。	ゲノム、mRNA、RT-PCR、タンパク質、免疫組織化学
						睡眠の質と体位の関連について	加藤・佐藤	病態検査学	配布された資料を読んで、実験内容を理解する(1時間)。実験結果をまとめてノートに記録する(1時間)。	PSGなど医療機器の装着・解析、医療統計
						PCR法を用いた遺伝子多型解析	中川・石黒	病態検査学	配布された資料を読んで、実験内容を理解する(1時間)。実験結果をまとめてノートに記録する(1時間)。	遺伝子多型、STR、SNP、識別能
						認知症発症機構の解明・生化学バイオマーカーに関する研究、および地域で実施できる高齢者向け認知症検診の検討	高村・河月	生体制御学	配布された資料を読んで、実験内容を理解する(1時間)。実験結果をまとめてノートに記録する(1時間)。	認知症、軽度認知障害(MCI)、認知症予防
認知症をきたす疾患を正しく理解し、認知症予防法の現状と展望を学ぶ。研究としては機械学習による認知症個別化検査方法の確立 アルツハイマー型認知症の髄液・血液を用いた診断マーカーおよび病態解析の研究を行う。	浦上・下田	認知症予防学	課題として与えられたテーマを学習し発表する(2時間)。実験結果についてはまとめてノートに記録する(1時間)	アルツハイマー型認知症、機械学習、バイオマーカー						

教育グランドデザインとの関連: 3, 5

学位授与方針との関連: 2

授業のレベル: 4: 上級レベル(発展科目)

評価: 各グループの責任教員が、授業態度、レポートなどにより評価する。

実務経験との関連: (研究歴がある教員、臨床検査技師が、その経験を活かして専門分野に関する研究指導をする。)

指定教科書: (グループにより異なる)

参考書: (グループにより異なる)

その他: (グループにより異なる)